

平成29年度 第4回庄原市道徳教育推進委員会研修会

- 日 時：平成30年1月16日（火） 14：00～16：40
- 場 所：庄原市総合体育館 第2会議室
- 対象者：庄原市内各小・中学校の道徳教育推進教師26名

目 的

- 「特別の教科 道徳」の全面実施におけるポイントについて理解を深め、今後の道徳教育の実践に生かす。
- 道徳教育推進教師としての役割を理解するとともに、校内における道徳教育推進及び充実を図るための方策について研修する

講話 「庄原市における道徳教育の現状とこれからの取組」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 赤木 一成
庄原市立高野小学校 教 諭 松園 聡
庄原市立西城小学校 教 諭 寺本 佳子



【講話の概要】

- 「特別の教科 道徳」全面実施に伴い、各校では、道徳教育全体計画、道徳教育全体計画における別業、各学年の年間指導計画の作成が必要となる。
- 諸計画を作成する際には、道徳科と道徳教育の関係について理解しておく必要がある。そのため、「学習指導要領解説 総則編」と「学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」の2つの解説を基に諸計画を作成する必要がある。
- 概要説明の後、道徳教育の研究推進を行っている2校の道徳教育推進教師が自校で作成した諸計画の具体について説明を行った。

【松園教諭より】

- 高野小学校では、これまで学校が使用していた年間指導計画の枠を活用して作成している。体験活動等を軸に、内容項目にあてはまる教材を配列し、年間指導計画を作成している。計画をしっかりと活用することを心がけている。

【寺本教諭より】

- 西城小学校では、教科書会社が提供している様式をもとに作成している。自校で設定している資質・能力を整理し、「めざす西城っ子」という項を追記している。
全職員でしっかりと協議して、作成することが大切である。

交流・協議 「各校における実践の交流」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 赤木 一成



【交流・協議の概要】

○ 各校において、これまで、「特別の教科 道徳」の配慮事項を踏まえた実践を行ってきた。参加者は、各校で行った実践について交流を行った。

その後、「特別の教科 道徳」の配慮事項を踏まえた実践を行う上でのキーワードについてグループで話し合い、全体交流を行った。

【参加者から出されたキーワード】

- ・自分事として考える
- ・ずれ
- ・自己との関わり
- ・多様な視点

講話 「道徳教育の最新の動向と各校にて取り組むべきこと」

広島県教育委員会 豊かな心育成課 大橋 美代子 指導主事



【講話・演習の概要】

○ 今後、児童生徒一人一人の学習状況や道徳性に係る成長を見取り、評価していかなければならない。まず各校で行うべきことは、児童生徒が、「考え、議論できる道徳」の授業を行うこと、それができなければ、児童生徒の成長を見取することは難しい。そして、多様な評価方法により、児童生徒の道徳性に係る学習状況を見取らなければならない。

【参加者から】

- 別業をいかに機能させていくか、作成のプロセスで全職員が関わるということがとても大切なことが分かった。自校でも、全職員で諸計画を作成し、機能化させていきたい。
- 全体計画等の諸計画が、作成するのみにならないよう、全職員で考え、議論し、機能化するものとなるようにしたい。また、来年度からスムーズに授業・評価を行えるよう、授業改善や評価の研修を行ってほしい。
- 来年度の教科化に向けて、道徳教育推進教師が中心となって、授業づくりや評価についての研修を行うことや、そのための視点が参考になった。